



2023年3月期 決算説明資料

ダイコク電機株式会社
2023年5月25日(木)

東証プライム・名証プレミア
証券コード 6430

当期の経営成績

▶ 大幅な増収増益

売上	318億24百万円	前年同期比	+30.5%
営業利益	40億19百万円		+237.4%
経常利益	42億60百万円		+211.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	29億27百万円		+138.2%

- ☞ スマートパチスロがファンの高い支持を得たことで、当社顧客であるパチンコホールの設備投資が活発化し、当社設備の販売が好調に推移

今期の方針

- ▶ クラウド化とパチスロ事業への参入に向け積極的な開発投資を実施
- ▶ 社内改革としてDXや体制整備を推進

**FY2023/3
Results**

1

2023年3月期 実績

連結損益計算書

・ 連結業績は増収かつ大幅な増益

単位:百万円	2022/3期	2023/3期 (予想※)	2023/3期	前年同期比 (増減率)	予想比 (増減率)
売上高	24,390	30,000	31,824	+7,434 (+30.5%)	+1,824 (+6.1%)
売上総利益	10,143	13,500	14,507	+4,364 (+43.0%)	+1,007 (+7.5%)
販売費及び 一般管理費	8,952	10,500	10,487	+1,535 (+17.2%)	△12 (△0.1%)
営業利益	1,191	3,000	4,019	+2,828 (+237.4%)	+1,019 (+34.0%)
経常利益	1,367	3,200	4,260	+2,892 (+211.5%)	+1,060 (+33.1%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,228	2,100	2,927	+1,698 (+138.2%)	+827 (+39.4%)

※業績予想値は、2023/2/9に開示した「2023年3月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正(50周年記念配当)に関するお知らせ」より

・ 主要セグメントである情報システム事業の売上高は+40.6%の大幅な増収

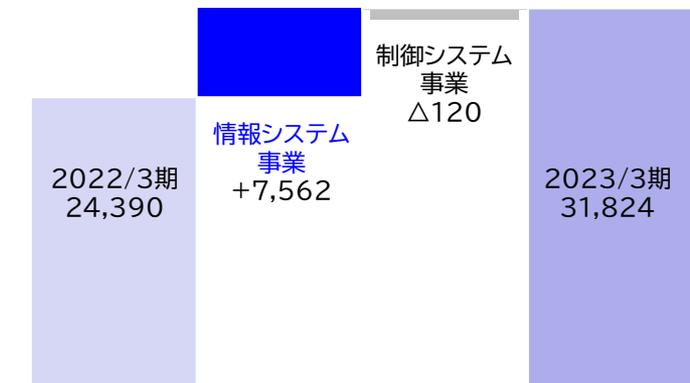
情報システム事業

売上高 **262億9百万円**

前年同期比 +75億62百万円

増収 +40.6%

単位:百万円



パチンコホール向け製品等

売上高 **197億34百万円**



スマートパチスロ登場に伴い、ホールコンピュータ「X(カイ)」のシステムアップや、カードユニット「VEGASIA」、大型液晶呼出しランプ「BiGMO PREMIUM」の販売が好調

サービス

売上高 **64億74百万円**



「ClarisLink」「Market-SIS」などMIRAIGATEサービスの加盟店舗が増加し前年同期を上回る

・ 制御システム事業の売上高は△2.1%の減収

制御システム事業

売上高 **56億39百万円**

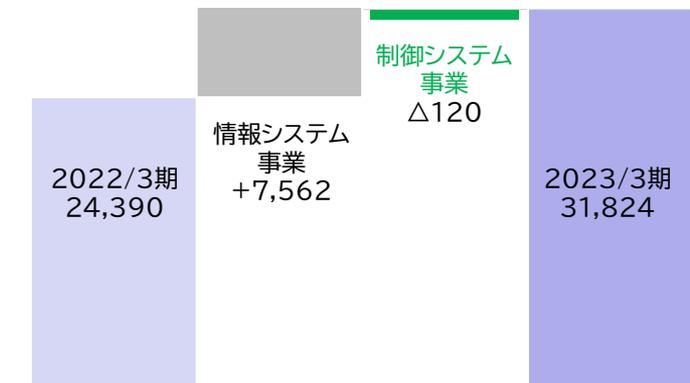
前年同期比 Δ 1億20百万円

減収

Δ 2.1%

※セグメント間取引を含む

単位:百万円



遊技機メーカー向け表示・制御ユニット等

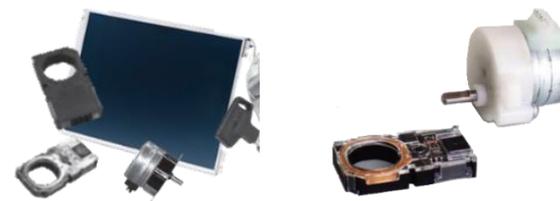
売上高 **24億28百万円**



前期に実施された新規則機への入替需要による反動と、今後のスマート遊技機の動向を探る姿勢により、市場全体の遊技機販売台数は減少し、表示・制御ユニット売上は前年同期を下回る

部品・その他

売上高 **31億86百万円**



部品販売は好調に推移し前年同期を上回る

・ 情報システム事業は+152.8%と大幅増益なるも、制御システム事業は△73.8%の減益

情報システム事業

セグメント利益 **54億90**百万円

前年同期比 +**33億18**百万円

増益 +**152.8%**

スマートパチスロ登場により市場が活況となり、カードユニット「VEGASIA」の販売台数および利益が予想を大幅に上回り、前年同期より増益

制御システム事業

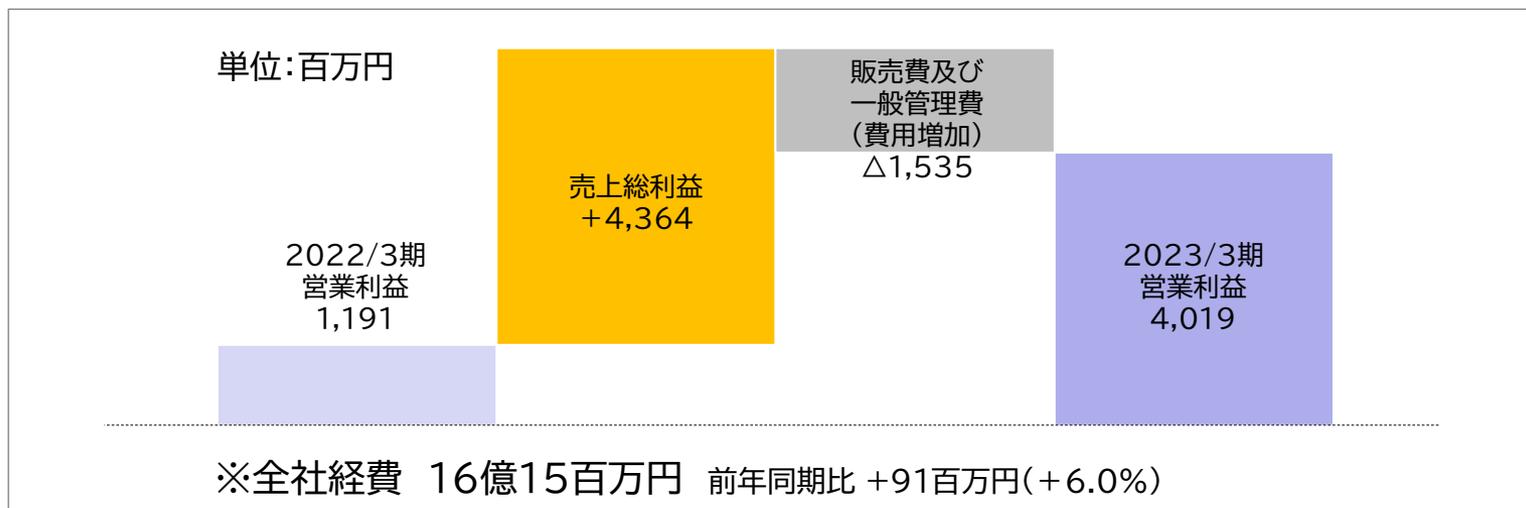
セグメント利益 **1億40**百万円

前年同期比 △**3億96**百万円

減益 △**73.8%**

※セグメント間取引を含む

取引先遊技機メーカー民事再生手続きによる債権に対する貸倒損失、及び子会社の未回収の債権に対する貸倒引当金の計上により、前年同期より減益



連結貸借対照表

・ D/Eレシオ(有利子負債÷自己資本)は0.06と、十分な健全性を確保

単位:百万円	2022/3期	2023/3期	前年同期比
流動資産	26,764	33,626	+6,862
固定資産	14,725	14,672	△53
資産合計	41,489	48,298	+6,808
流動負債	9,419	13,966	+4,546
固定負債	928	932	+4
負債合計	10,348	14,898	+4,550
純資産合計	31,141	33,399	+2,258
負債純資産合計	41,489	48,298	+6,808
有利子負債	2,001	2,001	±0
自己資本比率	75.1%	69.2%	△5.9%
D/Eレシオ	0.06	0.06	±0

■資産

増加

利用計画のない遊休資産の減損計上や減価償却費計上などにより固定資産は減少したが、業績が好調に推移したことで営業債権が大幅に増加し、前連結会計年度末比68億8百万円増加

■負債

増加

製品仕入の増加に伴う営業債務の増加、業績が好調に推移したことによる所得の増加に伴う未払法人税等の増加により、前連結会計年度末比45億50百万円増加

■純資産

増加

配当金の支払いがあったが親会社株主に帰属する当期純利益の計上により、前連結会計年度末22億58百万円増加

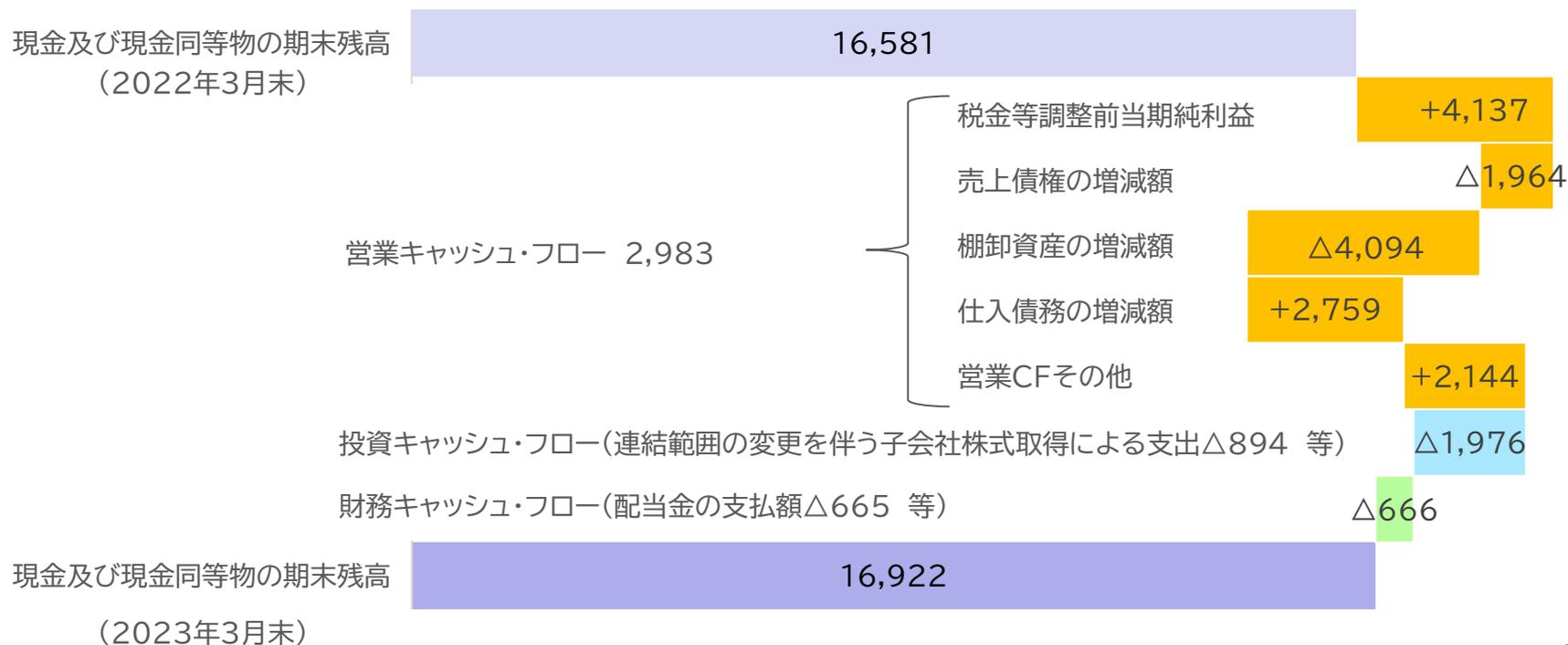
■自己資本比率

減少

純資産は増加したが、それ以上に流動資産が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ5.9%減少

・ 棚卸資産の増加や売上債権の増加により営業キャッシュフローは前年同期比で減少

単位:百万円	2022/3期	2023/3期 第2四半期	2023/3期
営業キャッシュ・フロー	3,220	△343	2,983
投資キャッシュ・フロー	△564	△570	△1,976
財務キャッシュ・フロー	△1,814	△517	△666
現金及び現金同等物	16,581	15,150	16,922
フリー・キャッシュ・フロー	2,655	△913	1,007



**FY2023/3
Results**

2

2024年3月期 見通し

- ・ コロナ禍の3年間、非常に厳しい環境のなか、開発投資を抑制してきた
- ・ 今後は、クラウド化とスマートパチスロ事業への参入に向けた積極的な開発投資や、社内改革としてDX推進や社内体制の整備を行う

将来への積極的な開発投資

クラウド化



スマート
パチスロ



社内改革

DX推進

社内体制の整備



- ・ スマート遊技機専用カードユニットの安定供給に取り組みながら、スマート遊技機に最適な機能を強化
- ・ パチンコホール企業の業績向上につながる経営支援サービスの価値向上を目指す

スマート遊技機への全力対応

- 専用カードユニットの安定供給
- スマート遊技機に最適な機能を強化
 - ・ 新たな遊技性をファンに魅力的に伝える機能の強化
 - ・ 複雑化する遊技性に合わせたデータ管理や省力化につながる機能の強化



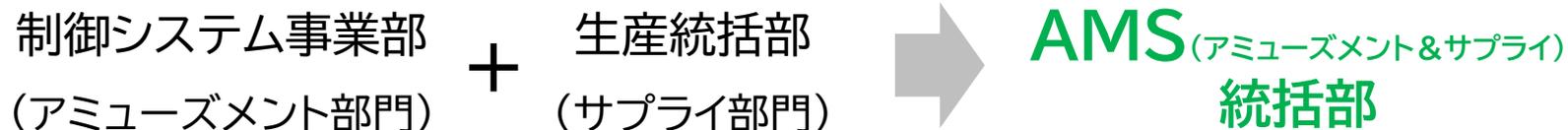
MIRAIGATEサービスのさらなる拡大

クラウド化

- 経営支援サービスの価値向上



- ・ 制御システム事業部はAMS(アミューズメント&サプライ)統括部として名称を一新
- ・ アミューズメント部門では、孫会社化したライリ社とともに、スマートパチスロ事業の早期参入を目指す
- ・ サプライ部門では、グループ全体の量産製造を強化し、企画から製造まで一貫した強固な体制を構築



アミューズメント部門

- スマートパチスロ事業への早期参入



サプライ部門

- ダイコク電機グループ全体の量産製造を強化
- 企画から製造まで一貫した強固な体制を構築

2024年3月期 連結業績予想

- ・ スマート遊技機向け設備の販売台数が増加し増収増益
- ・ 積極的な開発投資により、研究開発費や設備投資は前年同期比で大幅に増加

単位：百万円	2023/3期	2024/3期 (予想)	前年同期比	増減率
売上高	31,824	38,000	+6,175	+19.4%
売上総利益	14,507	15,200	+692	+4.8%
販売費及び一般管理費	10,487	11,000	+512	+4.9%
営業利益	4,019	4,200	+180	+4.5%
経常利益	4,260	4,350	+89	+2.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,927	3,000	+72	+2.5%
研究開発費	659	1,451	+791	+120.0%
減価償却費	1,589	1,594	+4	+0.3%
設備投資	1,255	2,941	+1,686	+134.4%

※設備投資には、有形固定資産の他、無形固定資産への投資を含めて記載しております。

2024年3月期 セグメント別業績予想

- ・ 情報システム事業は、スマート遊技機向け設備の販売台数が増加し増収増益
- ・ アミューズメント事業は、開発機種数の減少およびスマートパチスロへの開発投資で減収減益

単位：百万円	2023/3期	2024/3期 (予想)	前年同期比	増減率
情報システム事業	26,209	33,000	+6,790	+25.9%
アミューズメント事業	5,639	5,000	△639	△11.3%
セグメント売上高	31,849	38,000	+6,150	+19.3%
情報システム事業	5,490	5,900	+409	+7.5%
アミューズメント事業	140	30	△110	△78.5%
セグメント利益	5,631	5,930	+298	+5.3%
全社経費	△1,615	△1,730	△114	△7.1%

※セグメント業績の売上高にはセグメント間取引が含まれております。

- ・ アミューズメント事業では、パチンコホールの稼動や集客に貢献できるスマートパチスロを提供できるよう、遊技機メーカーとして開発・製造・販売を目指す
- ・ パチスロ開発企業である株式会社ライリィを孫会社化
- ・ パチンコの受託開発(OEM)は継続

アミューズメント事業

- パチンコからスマートパチスロへ
- 遊技機メーカーとしてパチスロ機を開発・製造・販売
- 2024年の市場投入を目指す



ft **アクト株式会社**



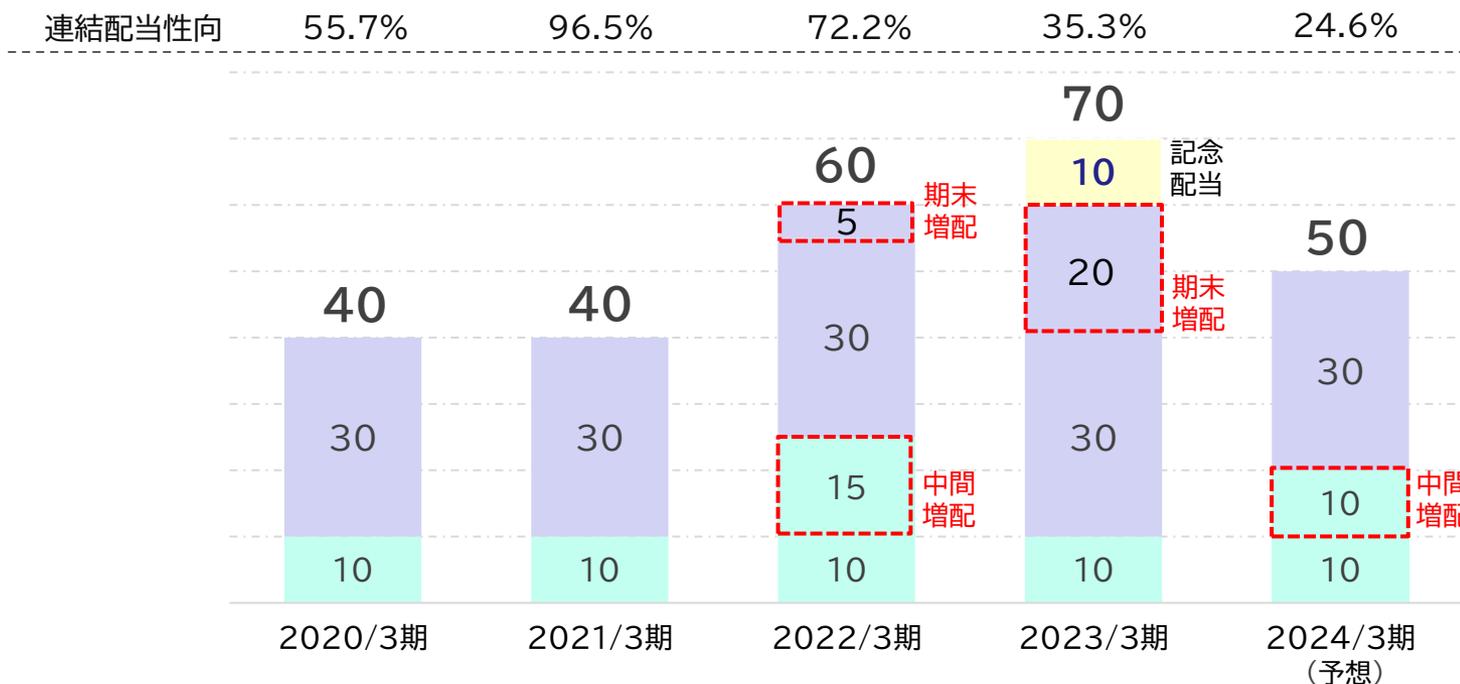
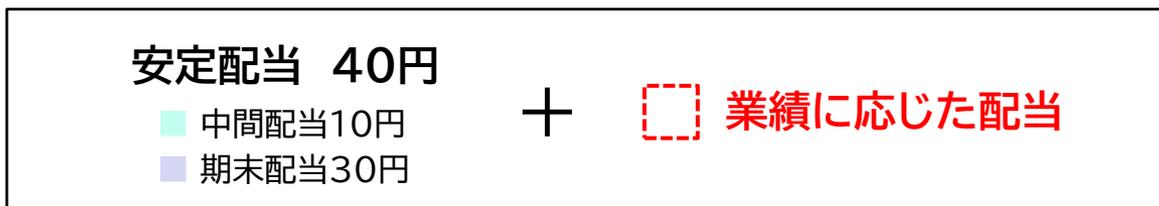
株式会社 **ライリィ**

中期経営計画の数値目標

- ・スマート遊技機の普及や新紙幣の発行により、パチンコホールの設備投資は堅調に推移することが見込まれるため、数値目標を上方修正

単位:百万円	2023/3期		2024/3期		2025/3期	
	実績	前年同期比	計画	前年同期比	計画	前年同期比
売上高	31,824	+30.5%	38,000	+19.4%	40,000	+5.3%
営業利益	4,019	+237.4%	4,200	+4.5%	4,500	+7.1%
経常利益	4,260	+211.5%	4,350	+2.1%	4,650	+6.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,927	+138.2%	3,000	+2.5%	3,200	+6.7%

- ・ 事業環境や収益の状況、配当性向等を総合的に勘案し、安定配当を行うことを基本方針とし、業績に応じた利益還元(特別配当)を実施
- ・ 2023年3月期は、好業績による特別配当と設立50周年の記念配当を加え合計70円に
- ・ 2024年3月期は、足元の業績が堅調なため中間配当に特別配当を加え合計50円を予定



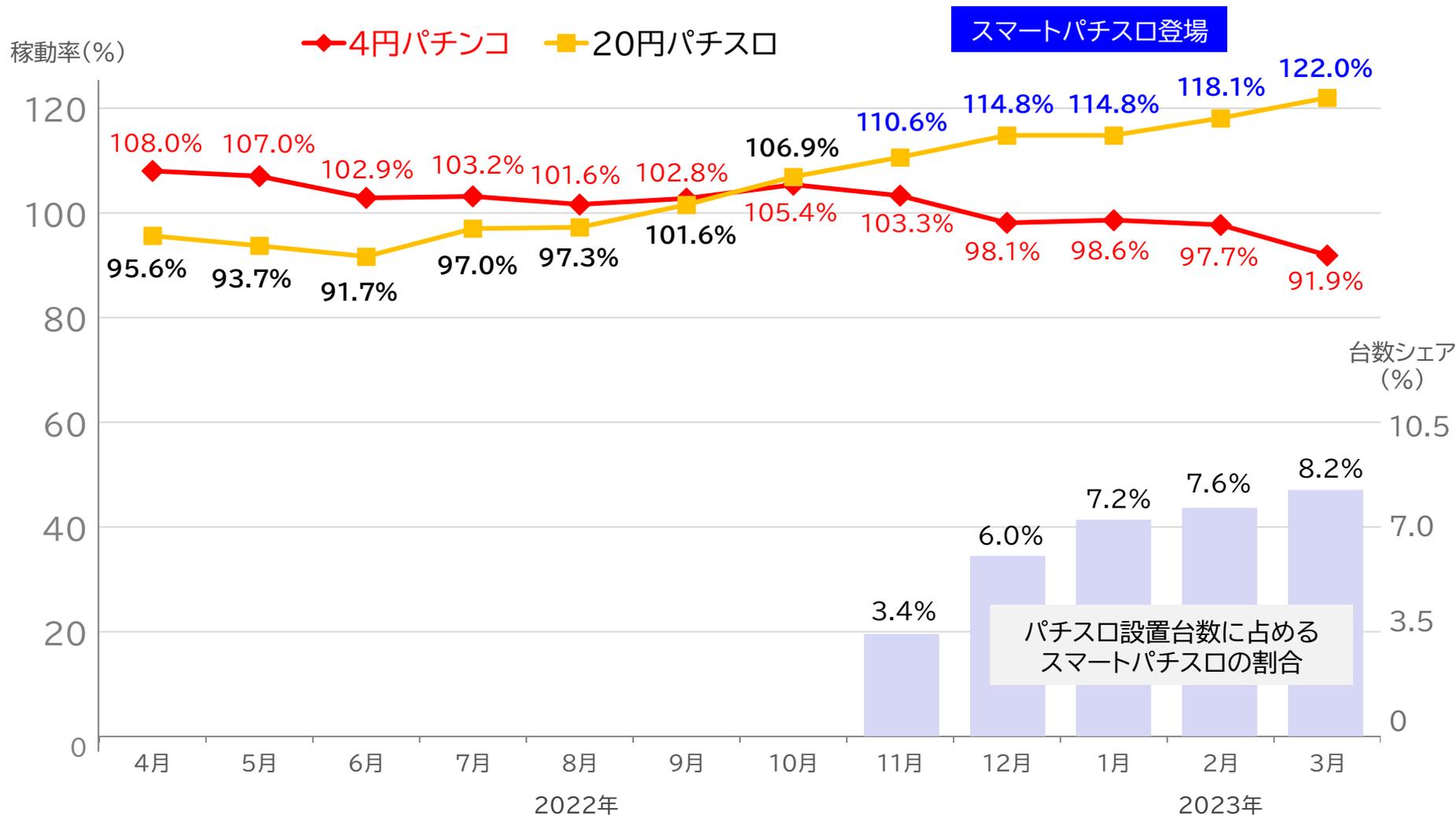
**FY2023/3
Results**

3

参考資料

稼動（アウト）・前年同月比の推移

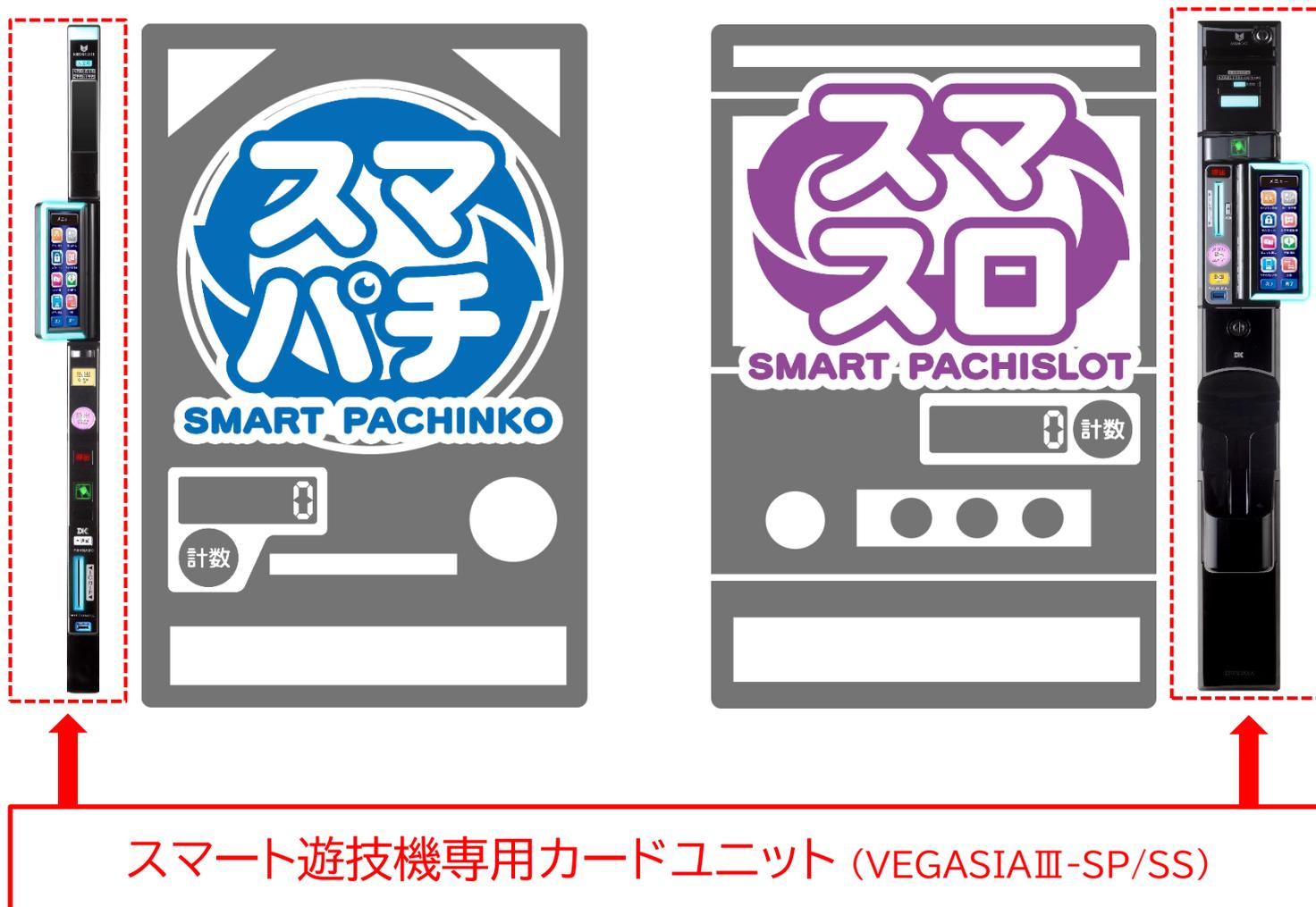
・ 2022年11月のスマートパチスロ登場により20円パチスロの稼動が上昇



※稼動(アウト)はDK-SISの実データ

スマート遊技機専用カードユニット

- ・スマート遊技機には専用カードユニットが必須
- ・スマート遊技機の普及により、スマート遊技機専用カードユニット「VEGASIA」の需要が高まる



- ・ 玉やメダルが無い時代の出玉アピール端末として、呼び出しランプ(大型液晶)の需要が高まる
- ・ ホールコンピュータ「X(カイ)」と呼出しランプやカードユニットの連動機能も好評

大型液晶呼出しランプ BiGMO PREMIUM



玉やメダルによる出玉演出ができないため、大型液晶画面で出玉をアピール

大型液晶呼出しランプ REVOLA



パチンコにはデカセグ+液晶タイプのREVOLAのニーズが高い

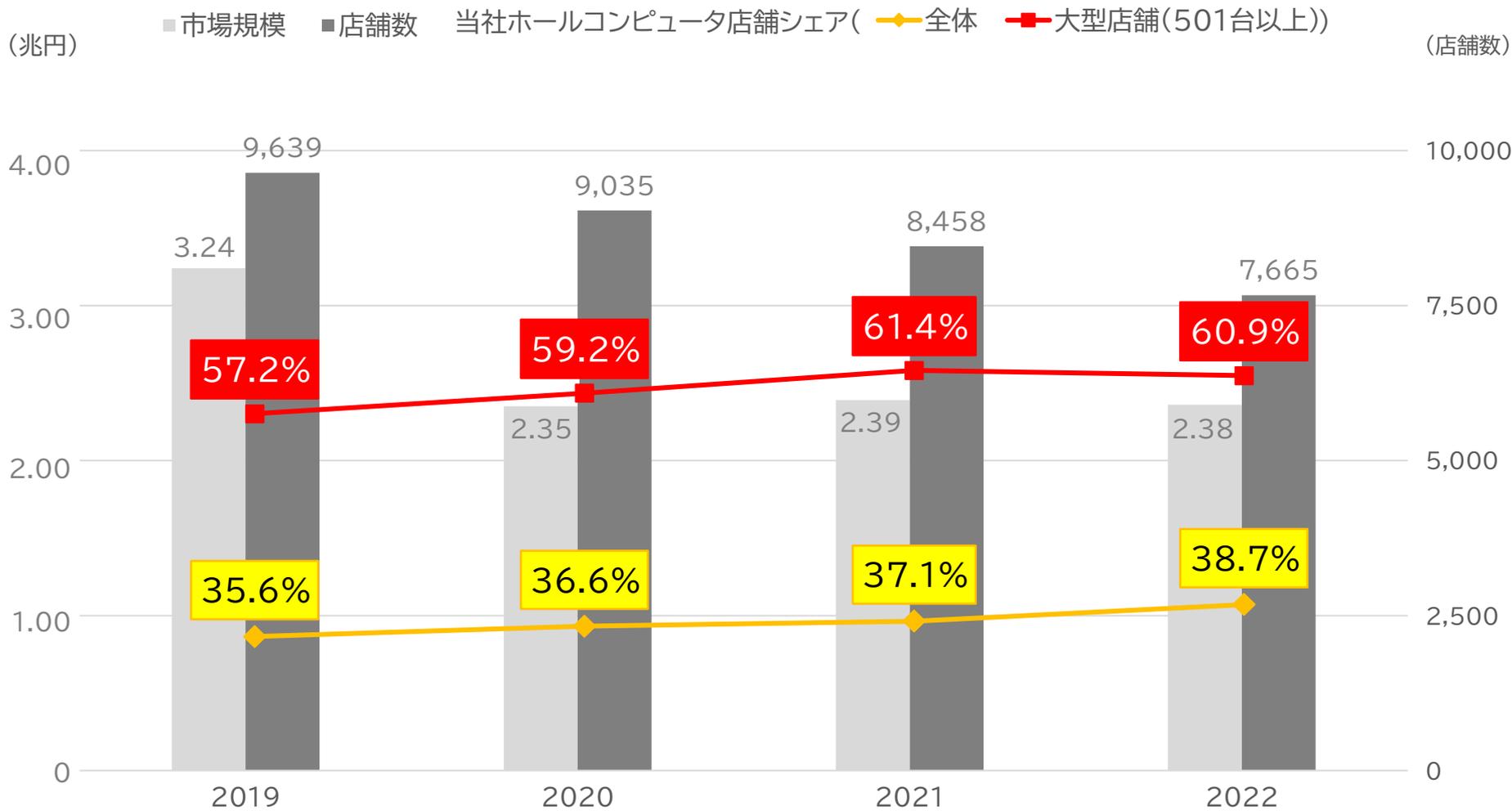
カードユニット VEGASIA



離席する際にカードをロックし出玉を守るセキュリティ機能は、遊技台の確保にも最適

市場規模(総粗利)・店舗数と当社ホールコンピュータシェア

・市場は緩やかに縮小するも、当社のシェアは大型店舗を中心に業界No.1



※市場規模(総粗利)はDK-SISの実データからの推測値

※店舗数は警察庁の「風俗営業等の現状と風俗関係事犯等の取締り状況」より

・パチンコホール・パチンコファン向けに各種製品サービスを開発し提供

ホールコンピュータ



店舗に設置された遊技台のデータを集計し、ホール経営に役立つ高度な分析を提供。

台・景品・顧客・情報公開、セキュリティ等、店舗運営に必要なシステムを統合管理。

最新モデル「X(カイ)」では、全国の当社ホールコンピュータから当社MIRAIGATEサーバーに送信されるビッグデータを活用。

AI自動分析(オートコンサル)をはじめ、AIセキュリティ、高精度シミュレーション、禁煙化対応、新型コロナウイルス対応など、時流に合わせた運用が可能。



ファン向けWEB・アプリサービス



パチロボ(無料アプリ)では、全国のパチンコホールデータをファンが無料閲覧可能。



サイトセブン(有料サイト)では、パチロボより詳細なデータをファンが閲覧可能。

呼出しランプ(大型液晶)



BiGMO PREMIUM II



REVOLA

大当りやスタートなど遊技台のデータ表示、機種に合わせた映像・光・音等による演出、ファンによるスタッフの呼出しなどを行う。

景品管理

獲得した出玉を景品交換するシステム。POS「SP-01」では、15.6インチ大型タッチパネル液晶でのキーボードレス運用が可能。セルフPOSとしても運用できる。



カードユニット

遊技するための玉やメダルを貸出するために、遊技台毎に設置される端末。

ホールコンピュータ「X」との連動で、ホール内での高度なセキュリティや分析を提供。

直近ではスマート遊技機専用「VEGASIAⅢ-SP/SS」の需要が急増。



- ・ストック型ビジネスとして、パチンコホール向け・パチンコファン向けサービスを展開

パチンコホール向け



ランニング売上



パチンコファン向け



有料会員数



- ・ 利益率の高いストック型ビジネス(サービス売上)が収益を下支え

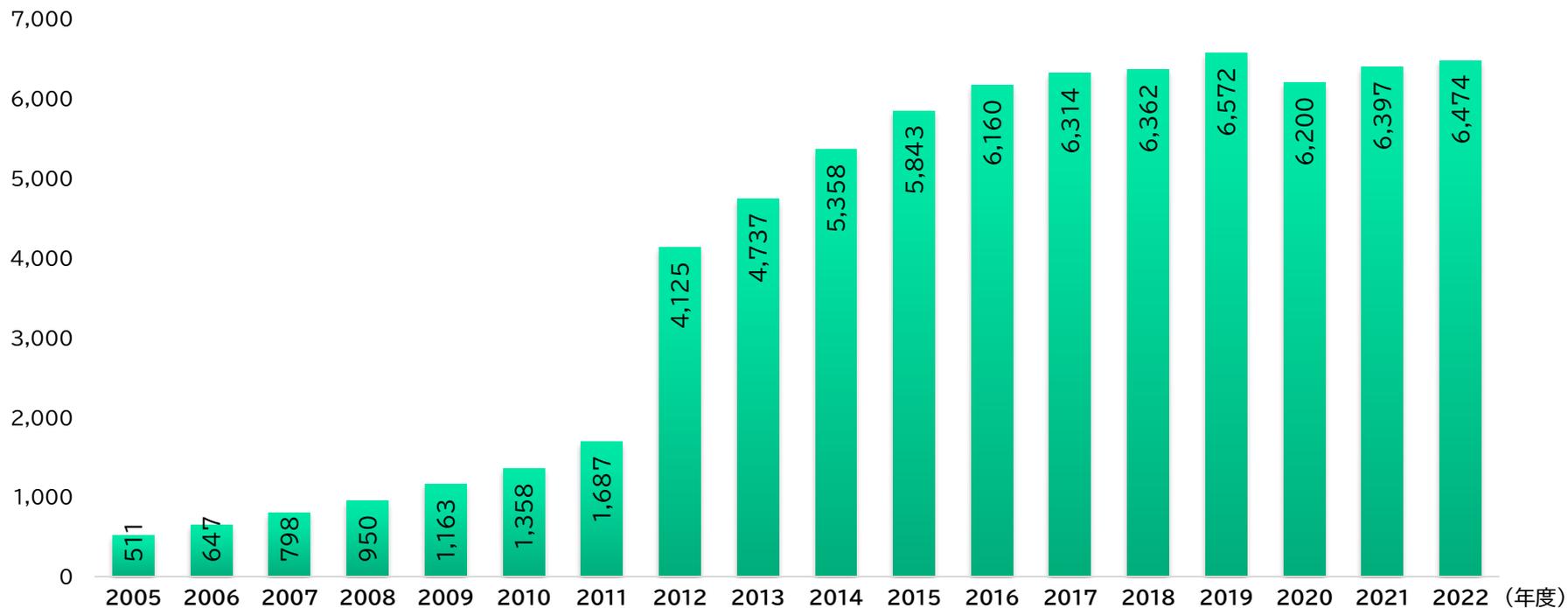
パチンコホール向け



パチンコファン向け



(単位:百万円)



・ MIRAIGATEサービス17種類のうち、今期は特に3つの経営支援サービスを強化

Market-SIS

商圈分析サービス

- ✓ 4,000店舗超のデータを掲載
- ✓ DK-SISのビッグデータを活用
- ✓ 自店、商圈、全国を一目で把握



ClarisLink

チェーン店管理サービス

- ✓ チェーン店データをクラウド管理
- ✓ いつでもどこでもデバイスフリー



らく替オプション

省力化ツール

- ✓ 手間のかかる遊技機の入替設定が、たった1分で完了



変更承認
申請書
システム

当社の事業展開（情報システム事業）

- ・ DK-SISは、全国に設置された遊技台の39.7%にあたる141万台のビッグデータを収集・分析し、パチンコホールの経営を支援する業界No.1の情報提供サービス(会員数3,257件)
- ・ 業界向けWebセミナー「DK-SISセミナー」では、最新の業界動向や業績向上につながる営業手法を解説し、約5,000人の業界関係者が視聴



DK-sis



SIS Online Seminar
オンラインセミナー 躍進

ClarisLink
DK-sis Fan-sis
Xai-sis market-sis

開催期間 6月20日(月)～24日(金)
※当日利用でもセミナー内容は同一。所要時間は約90分を予定。時間内は自由に視聴いただけます。

第一回 13:30～15:30 第二回 18:00～20:00

講師 片瀬 宏之 成田 晋治 服部 祐治 竹河 雅斗

日	月	火	水	木	金	土
6/19	20	21	22	23	24	25

SIS Online Seminar
① 成田・晋治 ② 竹河・雅斗 ③ 成田・晋治 ④ 成田・晋治
⑤ 竹河・雅斗 ⑥ 成田・晋治 ⑦ 成田・晋治 ⑧ 竹河・雅斗

4円パチンコの業績を上げるために
躍進させる2大ポイント

- ① アウト支持率を指標とした
自店タイプシェアの再構築
- ② ビッグデータから導いた
特定日戦略の極意

業界初!

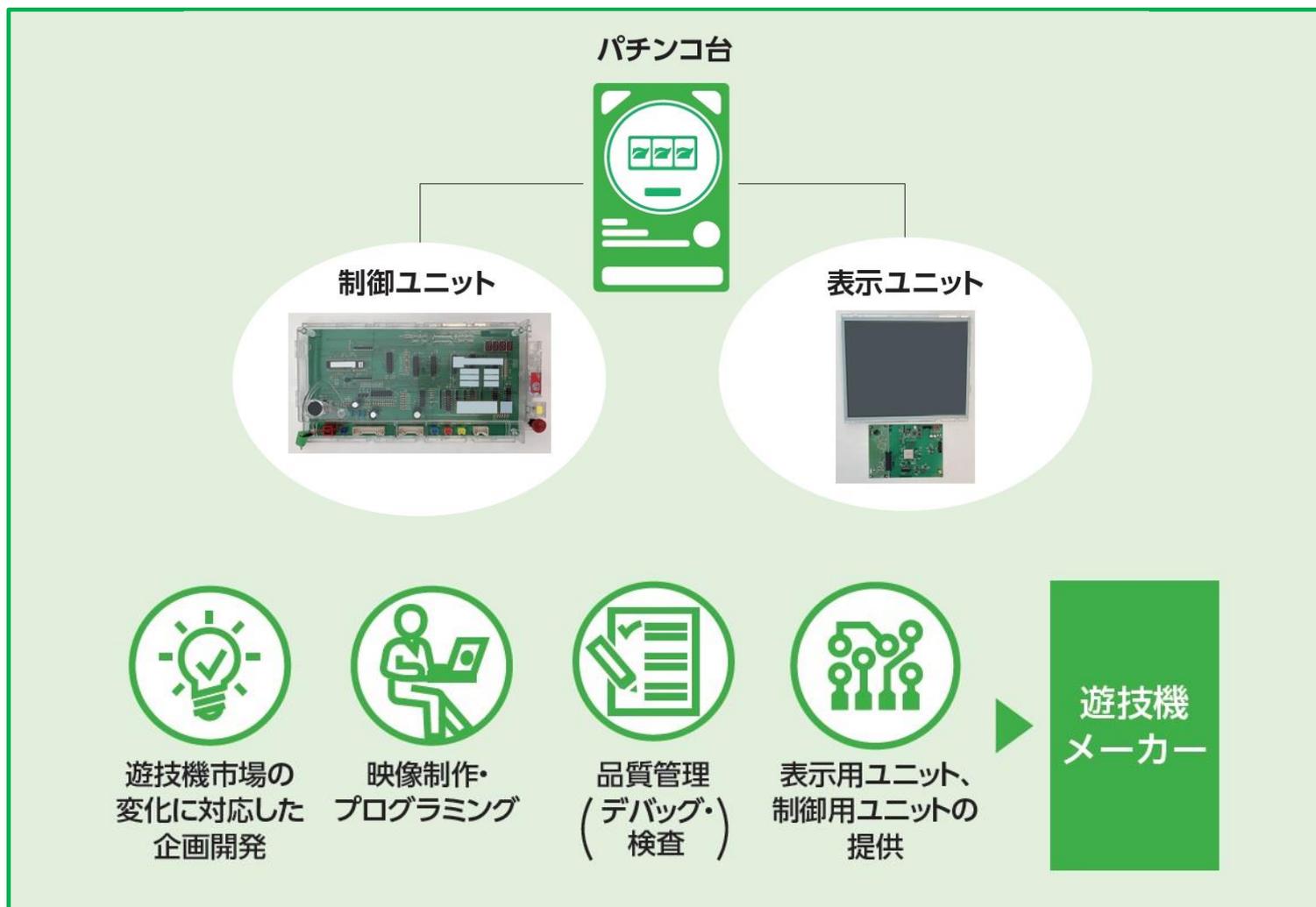
MIRAGATE-SIS 兼務部長 服部 祐治
MIRAGATE-SIS 兼務部長 服部 祐治

『新台戦略』だけに頼らなくても業績向上できます

当社の事業展開（アミューズメント事業）

- ・ 遊技機メーカー向けにパチンコ・パチスロ遊技機用ユニットを開発・製造・販売

※2023年4月より制御システム事業部は、「AMS統括部(アミューズメント&サプライ)」に名称変更しました



サステナビリティへの取り組み

- ・ 経営理念をもとにサステナビリティ基本方針を策定
- ・ サステナビリティ基本方針のもと5つのマテリアリティを特定



経営理念

サステナビリティ基本方針

イノベーションによる新しい価値づくりを通じ、これからも一貫して持続的な成長を果たしてまいります。

ダイコク電機グループは、経営理念に基づく事業活動を通じて社会課題を解決し、ステークホルダーの皆さまとともに、持続可能な社会の実現とグループの成長を目指します。

ESG	マテリアリティ	SDGs
E	地球環境への貢献	     
S	人材活躍の推進	  
	イノベーションによるソリューション提供	
	依存症への対応	
G	ガバナンスとコンプライアンスの強化	  

サステナビリティへの取り組み

・マテリアリティに沿った具体的な取り組みを推進

- 春日井事業所にソーラーパネルを設置
- TCFDに基づく気候変動に係る情報の開示
- CDPマネジメントレベル「B-」認定

- ・マテリアリティ : 地球環境への貢献
- ・SDGs : 目標7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」
目標13「気候変動に具体的な対策を」



- インフレ手当支給
- 福利厚生推進法人「ハタラクエール2022」認証
- 「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動2022」賛同

- ・マテリアリティ : 人材活躍の推進
- ・SDGs : 目標8「働きがいも 経済成長も」



■ ギャンブル依存症チェックゲーム

- ・マテリアリティ : 依存症への対応
- ・SDGs : 目標12「つくる責任 つかう責任」



■ 親子プログラミング体験教室

- ・マテリアリティ : 人材活躍の推進
イノベーションによるソリューション提供
- ・SDGs : 目標4「質の高い教育をみんなに」
目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」





■お問合せ先

ダイコク電機株式会社 総務部 IR推進室

URL <https://www.daikoku.co.jp/contact/>

E-MAIL : xsomu@daikoku.co.jp

本資料に掲載されているダイコク電機の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。これらの情報は、現在入手可能な情報から当社の経営者の判断に基づいて作成されております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみ全面的に依拠することは控えるようお願い申し上げます。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるよう、お願い申し上げます。